工業つ子

No.183
—発行日—
2019.04.26
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

緊張感も喜びもあふれて
2019 合格発表

三月十五日に体育館で行われた合格発表。合格した生徒やその保護者の方にインタビュー。「合格」を手にしての思いを聞いてみました。

合格発表されるのは時刻午前九時半。体育館前方で発表されるため、後方に待機していた多くの受検生が掲示板に駆け寄っていってました。無事、合格し、自分が合格した科の受付に並んだり、友達と喜びあったりしている生徒やその傍にいらした保護者の方々に「今」の想いを聞いてみました。

▲各学科の先生方との初対面

「嬉しい」 合格者インタビュー

Q「合格」を手にした感想をお願いします。

—すごく嬉しい／緊張した／びっくりした／嬉しすぎて泣きそう

Q受験するときに頑張ったことは何ですか。

—過去問を解くこと／苦手なところの克服／人の話を聞く／勉強／面接練習

Q長工で頑張りたいことを教えてください。

—部活／勉強／資格取得／行事／友達作り／礼儀正しくすること

「これからも頑張って」 保護者インタビュー

Q合格した感想は。

—涙が出そう／良かった／安心／とても嬉しい

Q長工での高校生活に期待することは何ですか。

—規則正しく育つように／どこに就職しても頑張っていけるような心と技術を身につけて／楽しく充実した学校生活／資格をたくさん取って良い所に就職してほしい／技能技術を高めて資格を取れるようになってほしい

Q頑張ってほしいことは何ですか。

—勉強／資格取得／スポーツ／自分の技術を高める／今のまま頑張ってインタビューにご協力してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

◀番号を確認する受験生

今日の一枚 ～咲き乱れ～

花粉症の私にとって天敵であるスギ花粉。ピークも過ぎ、ようやく晴れ晴れとした気持ちで外を出歩けるようになりました。するとグラウンドを降りるところにたくさんの桜の木があることに気付いたのです。一年生のときは入学式の時には散っていたので、初めての発見でした。

私も二年生。自分の進路を本格的に考えなければなりません。自分の花を咲かせることができるように心機一転、頑張ります。

（川林）

福島で学び 東京で楽しんだ 修学旅行

二月十八日から二十一日にかけて行われた修学旅行。今回は、これまでのスキー修学旅行から東日本大震災についての理解を深めるということを主目的に福島県を訪問。震災後の絶望的な状況から立ち直ったホテルハワイアンズやアクアマリンふくしま、いわき市内の工場を訪れ、お話を伺いました。実際に現地に行くことでより身近なこととして考えることができました。その後は世界遺産の日光東照宮見学、班別東京自主研修、東京スカイツリー見学と充実した修学旅行でした。

▲美しい動きで魅了されたフラダンス（ホテルハワイアンズ）

「新しい発見ができた」 インタビュー

修学旅行の感想を参加生徒に聞いてみると「東北地方では、震災のことについて今まで知らなかったことを学ぶことができた。東京自主研修では道に迷ってしまうというハプニングも起こったが、楽しかった。ほかにもさまざまな経験ができて、とても充実した修学旅行だった」「しょう油の味が長崎と違ったことに驚いた」「新しい発見があった。福島だからこそできた体験もあって、とても充実していたし、いろいろ楽しめて良かった」といつもと違う、長崎から遠く離れた場所で活動したからこそ文化の違いなどに気付くことができ、新鮮な発見ができたとの感想が聞かれました。

また、学年主任の**松瀬正人先生**にもお話を伺ってみると「個人的に印象に残ったのは東京湾ランチクルーズ。ランチをしながら海上から景色を眺めることに特別感があった。他にも前回とは行き先が変わったことで、福島で震災についての話を聞いたり、世界遺産を実際に見学したりすることができたことは良かったと思う」と話してくださいました。

高校生活のイベントで特に印象に残る行事、修学旅行。日常生活では学べない貴重な体験で知識の幅が広がったようです。

神秘的な雰囲気漂う
▼日光東照宮

▲これが三猿

▲ホテルの近くにありました

▲東京湾を見渡せる解放感

立場の変化

新学期。学年がたった一つ上がった、それだけのことなのに自分の中の何かが進級前とは変わったなと思うことがありませんか。

「進級」、このたった一つの出来事が私たちの立場を大きく変化させます。

ついこの間まで、中学校で最上級生だったのが一番下になり、見知った人が多かった小さな集団から、いくつもの中学校から集まった大きな集団の中での生活に変化した一年生。

今まで一番下でただ先輩についていけばよかったのに、「中心となって活動する」中堅学年と言われ、期待される二年生。部活動では三年生引退後に後輩を引っ張り、学校行事では先輩の姿を見て来年は自分たちの番であることを自覚するときがやって来ます。

高校生活を締めくくる年となる三年生。学校行事一つ一つが学生生活最後となります。そして、最高学年として自分の学科をまとめることを求められ、また、自分自身の将来のための選択をし、進路を決定しなければなりません。

それぞれの変化にまだどこか戸惑いを感じている人も多いかもしれません。

しかし、立場が変化することを自分自身で、しっかりと受け止めると、これまでとは異なる視点で物事を見ることができるようになる気がします。例えば、景色を見るときに地上に立って見るのと高い建物の中から眺めるのでは、受ける印象はがらりと変わります。見る位置を変えることによって、自分の世界が広がるのです。立場の変化は自分自身を成長させるいい機会です。

この機会を大いに生かし、それぞれに成長していくことが学校全体の活力につながっていくのではないかと思います。

（中野）

青春日記

新入生のみなさん、入学おめでとうございます（と言ってももう五月になりますが）。そして二、三年生のみなさん、お待たせしました。青春日記担当兼部長の中野です。自分の進路決めや後輩のリードなど、いろいろひっくるめて「三年生」というプレッシャーに日々追い回されています。しかし、決してタフネス精神を忘れたわけではないので、ご心配なく。

さて、三年生になった私ですが、最近気を遣っていることの一つが自分の身なり。私の場合は前髪を整えるのに一苦労しています。今までの人生で、「肩にかかるか、かからないかという微妙な長さまでしか髪を伸ばしたことのない私。おしゃれに疎いことが一瞬で分かります。そんな私の髪を校則に引っかからない程度に、丁寧に整えてくれるのが美容師さんです。ありがたや。さらには切りそろえてくれている最中には、私のお話に乗ってくれます。初めの出来事は最近の学校でのお話題など、身近なものが多いです。話してそこから話が広がっていくので、かなり楽しいです。相手を退屈させないように接するという精神あっての言動か、はたまた「大人の余裕」というはその両方か。俗にいう「神対応」に憧れます。就職試験の面接のときとかにかっこよく対応できたら良い印象を与えられるところで、この青春日記、約十年ぶりに筆者が女子になりました。男子が多い長工ですが、女子ならではの話題もたまには取り入れようかと思います。

（中野）

別れの春、十八名の先生方が離退任

離退任の先生のインタビュー

三月二十二日、終業式に引き続き行われた離退任式。十八名の先生方が離任、退任されることになりました。式が行われた体育館には卒業生の姿も多く見られました。離退任の先生方に長工で最後のインタビューを行いました。

質問内容
①今の気持ち
②長工での思い出
③長工で一番好きな場所
④長工で得たもの
⑤長工生に一言

長工生よ、頑張れ！退任される先生方

辻法行校長先生
①三十年間工業にかかわり、生徒と先生は他校より、頑張っている。
②私に対して気配りをしてくれた生徒がいた。
③グラウンドから見える桜並木。
④先生方の真心・思いやり。
⑤誰も見てないところでもゴミが落ちていたら拾ってゴミ箱に捨てるような人になってください。

▲丁寧にインタビューに応じてくださいました

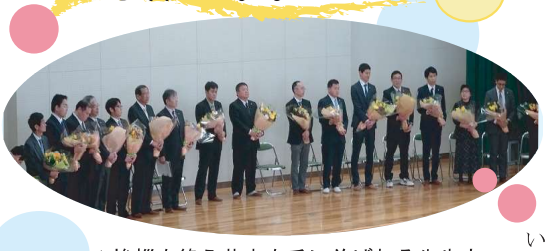
渡海健先生（D科）
①やっと終わった。
②会議が多すぎて生徒たちと接する時間があまりなかったのが残念。
③・④すぐには思い浮かびません。
⑤町の人たちに「長工生は他の学校の生徒とは違う！」と思われるようなことをしてください。

▲ほっとした表情で話される渡海先生

古賀理義先生（P科）
①新しい学校に対する不安。
②ロボコンでの生徒との練習。
③準備室。
④子供の成長のはやさ。
⑤これからはチャンスをどれだけものにできるかだから、幅広く挑戦してください。

平川陽先生（M科）
①特に今はないです。
②生徒に漢字間違いを指摘されたこと。
③剣道場。嗅ぎ慣れた匂いがするから。
④勉強することの大切さを知った。
⑤頑張れ。

田川正則先生（事務）
①まだ工業にいたいのはやまやまですが、他の高校でも頑張ります。
②工業高校らしい素晴らしい体育祭。
③図書室。
④先生方とのつながり。
⑤素晴らしい学校ですので、がんばって勉強してください。


▲挨拶を終え花束を手に並ばれる先生方

本多千壽先生（キャリアサポートスタッフ）
①三年間就職に関わって、やはり長工生は恵まれていると感じる。
②三年生の面接練習に役立てるようにしおりを作ったこと。
③グラウンド、進路指導室、中庭。いろんな思い出がある。
④資格取得に取り組む生徒とそれを教える先生の関係性を見ることができた。
⑤技術や知識は大事。だが、それ以上に「人間力」が必要になるときがくる。相手に興味を持って知ろうとする努力をしてほしい。

陰で支えてくださいました

▼田川先生
▲本田先生

多くの思い出を胸に離任される先生方

北島弘明教頭先生
①合計すると十三年間工業にいたが、あっという間だった。長崎工業がだんだん良くなっていくのが嬉しかった。四月から県庁という違う環境で厳しいが、いつか学校に戻る日を目標にします。
②三年生の担任をしていたときの進路指導。あと体育祭。
③ロータリー。
④生徒や先生方に成長させてもらった。
⑤自分の限界を知れ。

松本健先生（C科）
①気持ちの整理がつかないが、四月から頑張る。
②C科の人たちとの楽しい日々・陸上女子の駅伝初出場。
③実習棟。
④素直さ。
⑤自分にプライド（自信）を持ちなさい。

大槻範和先生（A科）
①十年があっという間。
②体育祭優勝。
③第二グラウンド（天空の城）。
④きずな。
⑤これからの長工に期待している。しっかり前を向いて歩いてください。

三谷誠先生（J科）
①少し微妙な気持ち。
②J2と一緒にいることができて楽しかった。
③J科準備室。
④わかりません。
⑤頑張って。

砂田一歩先生（英語科）
①寂しさ半分、次の学校への期待半分。
②体育祭。最後の校歌が素晴らしい。
③校訓をバックにした桜の木の景色。
④各科ごとの団結力。
⑤遠い島から応援しています。これからも頑張ってください。

平沼晃佑先生（A科）
①疲れた、さみしいな。
②施工管理五連覇ならず。
③A科準備室。
④ストレスとプレッシャーかな。
⑤頑張れ。

山口翔史先生（M科）
①あと一年…。
②体育祭五連覇したこと。そして今年勝てなかったこと。
③教室。
④いろんな人との出会い。
⑤三年生、来年満足のいく進路を実現してください。二年生は三年生の背中を見て成長をしてください。応援しています。

小川孝幸先生（D科）
①五年間早かったな。
②競技大会。総合優勝できたから。
③D科準備室。
④生徒との思い出。
⑤結果にこだわれ。

内田順子先生（養護）
①ありがとう。
②生徒と話したこと。
③保健室。
④やさしさと勇気。
⑤自分を大切に元気で頑張ってください。

福島健司先生（I科）
①転勤が初めてで緊張している。
②ありすぎてわからない。
③木工組立室。
④同僚。
⑤もっと人と面と向かって会話してほしい。

藤武宏先生（M科）
①寂しいです。
②生徒がものづくりで全国へ行ったこと。
③四棟一階。
④技術。
⑤頑張ってください。

▶小川先生

◀内田先生

▲福島先生

◀三谷先生

▶生徒と握手を交わしながら

新聞発行編 てふ工生！！！ パート④

～コピー機のきまぐれ～

※反抗期(機)かな……？

シリーズ ロボコン道 2

大きな舞台へ向けて

▲図面を見ながら丁寧に

私たちは今年度のロボコンに向けて、ロボットの製作を始めました。今回の課題は、卓球・ゴルフ・テニスという三種類のボールを持ち上げ、決められた枠の中にきれいにはめ込まなければなりません。

先輩方曰く前回よりもかなり難易度が高くなっているそうです。私は今回が初めての大会。今は製作するのも先輩方の手を借りてばかりです。しかし、これから少しずつでもお役に立てるように頑張って活動しようと思います。

（M2溝口）

二年生な☆日々

皆さん、こんにちは。新年度が始まり、新しく一年生が入学してきて、先輩としての自覚もないままなんとか二年生に進級できた川林です。私は新学期に入って、ある先生に教えてもらい、新しく始めたことがあります。それは、自分の家に帰ってからのスケジュールをつけることです。私は家に帰っても自分の好きなことを優先してしまうので、課題が終わってないままになるときが多々あります。それをなくすためにも、自分の生活のスケジュールを、メモ帳にでもいいので書くことが大切。ということをある先生に教えてもらいました。なので、まずは目先の目標である提出物の遅れをゼロにします。そして、何事もなく、三年生に上がります。

話は変わりますが、ひょんなことから新聞部に入部して、約二ヶ月。三年生の先輩と二人でインタビューや新聞作りをしてきました。初めての体験ばかりで、きついこともありました。ですが、きついことをやったおかげで得られたものもありました。先輩方に教えてもらったように、次は私が後輩に教えられるように。そして、長工を卒業するときに胸を誇れるようにこれからも頑張ります。

（川林）

編集後記

たった二人で行った今回のインタビュー。先生方を訪ねて何度も準備室を往復しました。新任の先生方を迎える前の良い運動になったと思えば……。離任・退任された先生方、最後まで新聞部にお付き合いいただきありがとうございました。